

最近、あちこちで見かけるようになったQRコード(二次元バーコード)。
カメラ付き携帯電話で撮影するだけで、いろんなサービスを受けられるという。
なかでも独自のサービスを目指す
メディアスティック(株)の「MS-MARK」とは?

ケーススタディ 進化した モバイル・コミュニケーション 「MS-MARK」が実現する ユビキタス情報環境

メディアスティック株式会社 代表取締役社長 宮内淑子



みやうち・よしこ

NHK、民放のキャスター、パーソナリティー、ディレクターを務め、NHK会長賞、番組視聴者賞を受賞。明海大学などでコミュニケーション論を教えるとともに、全国初の兵庫県主任広報専門員に民間から起用され、話題となる。94年に(株)Y.NETを設立、自治体や企業へのコンサルティングを始め、企業戦略や情報戦略などの総合プロデュースを手がけると同時に、2000年にメディアスティック(株)を設立し、次世代型デジタルネットワーク物流システムの構築を手がける。

取材・文=小原誠之

新しい情報記録方式 二次元バーコード

最近、テレビで、街角のポスターなどに付いている小さな四角いモザイク模様をカメラ付き携帯電話で撮影するというCMを見るようになった。あのモザイク模様が、これまでさまざまな商品に付けられてきたおなじみのバーコードに代わる、新しいバーコードだ。

従来のバーコードが横方向の線の並び方で情報を表していたのに対し、近年開発されたバーコードの多くは、横方向に加えて、縦方向にも並ぶドットのマトリクスを使った複雑なパターンで情報を記録している。そのため、これまでのバーコードよりはるかに多くの情報を、より小さなスペースに記録することが可能になった。このように、従来の横方向のみ(二次元)のバーコードに対し、縦と横の二方向のマトリクス方式で情報を記録したものを、二次元バーコードと呼んでいる。

アメリカや日本などで十数種もの方式が考え出された二次元バーコードだが、なかでも、一九九四年に株式会社デンソーが発表したQR (Quick Response) コードは、情報量の多さや、読み取り時に上下左右の位

置に制限されないなどの利点から、二次元バーコードの主流になっている。一九九七年に世界規格に認定され、一九九九年にはJIS(日本工業規格)にも採用された。テレビCMの中で、携帯電話で写すことでその情報を読み取っているのは、このQRコードだ。

そして、このQRコードの技術をベースに構築されたまったく新しい情報環境が、メディアスティック株式会社が開発した「MS-MARK」というシステムである。

MS-MARKが広げる世界

前述の携帯電話のテレビCMは、QRコードを携帯電話のカメラで読むことで、そこに記録されたURL情報から、該当のウェブサイトへのアクセスが簡単にできることをPRしている。だがこれはまだ、サイトへのアクセスまでを簡略化したものに留まっている。そのあと、さまざまな情報を取り込んだり、データを読んだり、送ったりするためには、やはりいろいろと文字入力の手操作が必要だ。

これに対し、MS-MARKはただサイトにアクセスするだけのコードではない。サイトを通じた資料請求、

カメラ付き携帯によってMS-MARKを撮ることで、ショッピングや映像や音楽などのダウンロード、資料請求などが簡単・安全にできる



商品の購入、画像や音楽のダウンロード、映画・音楽・書籍・天気・テレビガイド・ニュースの情報入手など、双方向の情報流通全体をコントロールする、高度な「モバイル・メタデータベース・システム」である。しかもそれらの多様なやりとりが、煩わしい操作の必要もなく、いとも簡単にできてしまうというものだ。

操作は簡単。まず、QRコード読み取り機能を搭載した携帯電話、たとえばドコモなら505iおよび900i以降の機種で、ユーザー登録用のMS-MARKを読み取り、画面の指示に従ってさまざまなユーザー情報を登録する。そこには氏名、住所、生年月日から、商取引の決済の銀行口座まで、任意のさまざまな情報を登録しておくことができ、必要に応じて必要な情報だけが、本人の承諾を得て、サーバ経由でサービスを提供する事業者のサイトへ送られる。もちろん、個人情報やIDとパスワードによってガードされ、管理される。この登録により、MS-MARKの利用に必要なアプリケーションやセキュリティ・システムがダウンロードされるしくみだ。

「実際に使う場合には、まずMS-MARKリーダーを起動させ、パスワード入力後に、雑誌広告、ポスター、カタログ、新聞紙面などに掲載されているMS-MARKを読み取ります。たとえばショッピングサイトなら、そのサイトを利用するのに必要な情報となる住所・氏名やクレジットカード番号などを相手に送っていかどうか確認してくるので、そこで「OK」としておけば、あとは商品を指定して買い物を「する」と入

れるだけで、購入申し込みから決済の指示まですべての手続きが完了します。いちいちその都度、送付先住所や決済方法を入力する必要がなくなるのです」(メディアアステック株式会社 社内淑子社長)

ユーザーがいろいろな情報を得るだけではなく、事業者もまたさまざまな顧客情報を、サーバを介して収集・管理することができる。年齢・性別や購入履歴から、趣味・嗜好、ライフスタイルに関するデータまで把握することで、次にその顧客がアクセスしてきたときに、一人ひとりのニーズに対応したワン・トゥ・ワンの商品提案をしていくことが可能になるだろう。顧客の好みに合った着メロのダウンロード、イベントの告知、お客様プレゼントの情報と応募状況の管理、フリーペーパーに付いている優待クーポン代わりなど、一方通行的なアクセスに終わらず、ユーザーと事業者双方の情報を結び付けることで、新しいサービスが生まれるのである。

アナログとデジタルの融合

顔が見えないネット社会の危険性がさまざまに指摘されている折から、このデータシステムは、個人情報

読者プレゼント!

MEDIA STICK

音環境デザイナー・小久保隆作曲の癒しの着メロ7曲と、建築家・隈研吾建築作品待ち受け画面、画家・マーク・エステル作品待ち受け画面をプレゼント致します。

まずは、携帯電話のインターネット機能を使って<http://m.msmb.jp>を入力し、ダウンロードページにアクセスして下さい。画面指示に従ってダウンロードがすんだら、アプリ選択画面で「MS-MARKリーダー」を起動し、MS-MARKを撮影してダウンロードします。詳しくは、<http://www.mediastick.co.jp/>をご参照ください。

なお、コンテンツ・ダウンロードの対応機種は、ドコモ900iと505isシリーズ以降、auA5502K、A1402Sです。



☆☆☆ 2004.09.30
kokubo



☆☆☆ 2004.09.30
kuma



☆☆☆ 2004.09.30
marcestel



MS-MARKリーダーの起動画面

報に関するセキュリティ面を特に重視し、最高レベルのセキュリティ技術を導入している。

単なる二次元バーコードだけでは、改竄されるおそれがある。そうなった場合、違うサイトへ飛ぶように改竄されたとしてもユーザーにはわからず、買おうとしたものとは違う商品を買わされてしまうケースが出てくるかもしれない。さらに、個人情報も流出しかねない。しかし、MS-MARKは改竄、偽造ができないようになっている安全なコードであり、事業者の認証と、パスワードの管理によるユーザーの個人認証をメディアスティック(株)のサーバでおこなうことで、高いセキュリティを実現している。個人情報独自の暗号化システムで保護されているから、携帯電話を落として誰かに拾われても、まったく問題ない。サーバが送る情報もすべて暗号化され、サーバの管理者でさえ、情報を持ち出すことができない安心・安全なシステムなのである。

「私たちが目指しているのは、ITストレス・フリーのユビキタス情報環境の創造」です。夢のように便利になった情報社会ですが、まだまだ機械の論理に人間が合わせているような機械操作が大きな壁にな

り、ITストレスをもたらしていません。それをなんとかしようというのが、発想の原点です。そのために、今いちばんヒットしているメディアと結び付いて、これを実現する。そのメディアが、今は携帯電話なので。ただし、携帯電話はあくまでも一つの手段であり、目的は、そのようなユビキタスな情報環境を提供するデータシステムを構築して、利用してもらうこと。今後、メディアの形がICチップや次世代のバーコードに替わったとしても、メタデータベースのシステム自体、理念自体は変わらないのです」(宮内淑子社長)

MS-MARKは紙媒体に印刷して使えるほか、パソコン画面上からでも読み取ることができる。また、布地に印刷したものでもOKなので、たとえばTシャツにMS-MARKをプリントしてイベントの告知などに使うこともでき、今後、遊び心をもったさまざまな使い方が考えられるだろう。印刷物というアナログな情報手段と、二次元バーコードというデジタル技術が結びつくことで実現された、MS-MARK。いわば、アナログとデジタルの融合という新しい形から、新たなユビキタス・情報ネットワークが広がろうとしている。